

筑前あさくらJA米

1.種子更新率100% 2.食味向上(タンパク質含有率6.8%以下) 3.仕上げ水分14.5~15.0% 4.作付比率の厳守

令和4年産 稲作ごよみ

米は全量JAへ!!-JA米基準-

- 銘柄が確認できた種子
- 登録検査機関で受検した米
- 栽培履歴記録が確認された米
- 残留農薬分析を実施した地域の米

筑前あさくら農業協同組合 朝倉地域担い手・産地育成協議会

- 農業適正使用スローガン
- 1 散布前に必ず農薬ラベルを確認!
 - 2 散布時に、近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底!
 - 3 水田では、農薬散布後の止水期間(7日間)を遵守!
 - 4 散布後に、必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄!
 - 5 防除履歴は、正確に記帳!


1.育苗基準 (老化苗・病害予防のため23日苗とする)

主な作業

- 育苗箱は10a当たり20箱準備する。(ほ場未整備田では必要に応じて増やす。)
- 栽培履歴での適正な証明・品種固有の特性維持・病害虫予防のため、毎年**全量種子更新**を行う。
- 種子は10a当たり**2.5~3kg**準備する。
- 土は10a当たり、あさくら培土**4袋**または山土等100kg(5斗)を準備する。
山土には、70箱分の床土に育苗化成1kg(1袋)の割合で混和する。
山土2に対して珪酸くん炭1の割合で混和する。
- 育苗期の**病害予防**のため、必ず**薬液**か**温湯**による**消毒**を行う。
【温湯消毒】手法についてはJA営農センターか普及指導センターへ尋ねる。

種もみ(乾もみ)	水	浸漬時間	農薬名	使用量(希釈倍率)	対象病害虫
5kg	10ℓ	24時間	テクリードCフロアブル	50ml(200倍)	いもち病・ばか苗病
			スミチオン乳剤	10ml(1,000倍)	イネシガレセンチュウ

いもち病対策 上記にベンレート水和剤を20g(500倍)混用し、薬液消毒後、風乾し、浸漬する。

- 芽立ちを均一な状態に揃えるため、**浸種日数を充分にとる**。
- 種子は播種前日の夕方にあげる。(ハト胸から1mm程度)  【は種に適した催芽状態】
- 播種前に床土に充分かん水後、苗立枯病予防のため**ナエファインフロアブル1000倍液を1箱500mlかん注する**。
- 播種量は1箱**催芽籾で130g(1.1合)**を基準とする。(100箱分:水50ℓにナエファインフロアブル50ml)
- 覆土は充分に行う。(種子が隠れる程度)
- 苗箱は日当たりが良く風通しの良い場所に並べ、ラブリットで被覆する。
- 被覆期間中のかん水は、土が乾いたら1日1回ラブリットをはずして行う。
- 徒長防止のため、**苗の長さが4~5cm位になったらラブリットを除去する**。
元気がよく、にこまる・実りつくしは苗が伸びやすいので他の品種より1~2日早く除去する。
- かん水は、覆土が乾いてから行う。
根張りを良くし、徒長を防止するため、夕方のかん水は極力避ける。(弁当肥)
- 弁当肥を施す。(田植前4~5日)
日中の高温・乾燥時には施さない。(葉枯防止)

もみ枯細菌病対策

- 1.種子消毒の実施
- 2.播種量は催芽籾130g(1.1合)
- 3.風通しの良い場所に並べる
- 4.ラブリットを長期間かけない
- 5.水をかけすぎない

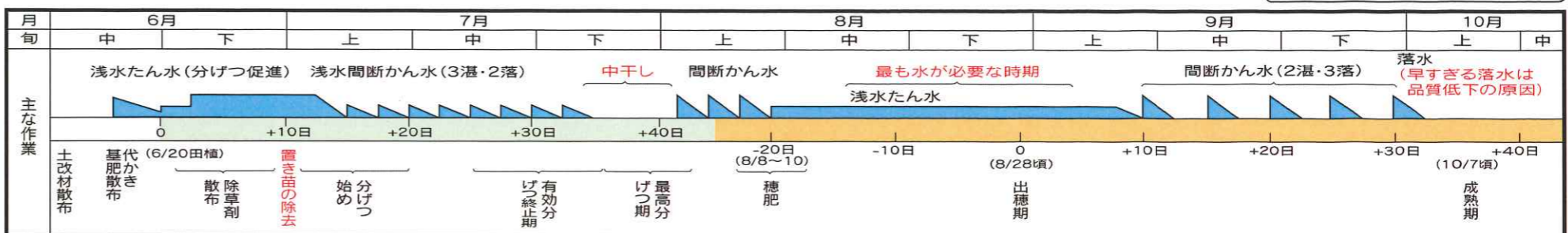
【ラブリット除去の目安】
【目標とする苗の姿】

※箱施薬剤は、確実に1箱当たり50g施用しないと防除効果が劣る。
※栽培密度は、60株/坪。(目安 19cm×30cm)
※ジャンボタニシ発生田では浅水管理を行い、スクミノン等を散布する。

水稲品種特性表 (6月20日田植)

品種名	出穂期	成熟期	耐病性		耐倒伏性	栽培上の留意点
			いもち病	白葉枯病		
夢つくし	8/16	9/21	弱	やや弱	やや強	いもち病に著しく弱いので選期防除に努める。
元気つくし	8/21	9/29	弱	中	やや弱	
ヒノヒカリ	8/28	10/7	やや弱	やや弱	やや弱	刈り遅れると著しく品質が低下するので、選期収穫に努める。
にこまる	8/31	10/17	やや弱	やや弱	やや弱	葉葉が柔らかいため、中干しや間断かん水を徹底する。いもち病に弱いので選期防除に努める。
実りつくし	9/1	10/18	やや弱	中	中	いもち病に弱いので選期防除に努める。収穫時期が遅いので、水管理に注意する。

2.水管理 <ヒノヒカリの水管理例(6月20日田植)> ※夢つくし・元気つくしでは中干しの開始時期が早くなる。



以下の時期を除き原則として生育期間を通して間断かん水を行う。
●田植後10日~2週間は活着促進とジャンボタニシ予防のため浅水たん水を行う。●田植後35日前後から中干しを開始する。(中干し期間は7日~10日間で強すぎないようにし、その後は徐々に間断かん水を行う。)
●幼穂形成期~出穂~開花期は水が最も必要な時期なので浅水たん水を行う。(幼穂形成期:出穂の20日前頃) ●台風接近時は深水にして風によるしおれを防ぐ。 ●充実を良くするため落水は遅くする。

3.土づくり対策

資材の分類	資材名	施用量(10a当たり)	備考
有機質	万能堆肥	2t	・腐植の増加 ・土壌通気性・保水性の向上 ・耕起前に就安10kg/10aを施用(まわらの分解促進) ・間断かん水の励行(根腐み防止)
	まわら	全量	
けい酸質	けい酸加里	40~60kg	・カリの供給
	ミネラルG	200kg	・微量要素の供給 ・けい酸の供給
	ケイ鉄		・登熟向上 ・倒伏防止 ・病害虫予防

4.施肥基準

施肥の留意点
・基肥一発肥料は、省力化を目的とした施肥例のため、年次により収量が減少することがある。
原則として追肥、穂肥は施用しない。
・側条施肥の場合は、施肥量を5kg/10a減配する。

品種	肥料名	施肥量(10a当たり)	成分(%)			成分量(10a当たりkg)		
			N	P	K	N	P	K
夢つくし	夢ごころ一発	40kg	20	10	10	8.0	4.0	4.0
元気つくし にこまる 実りつくし	元ビー一発1号	40~45kg	20	10	10	8.0~9.0	4.0~4.5	4.0~4.5

品種	肥料名	施肥量(10a当たり)	成分(%)			成分量(10a当たりkg)		
			N	P	K	N	P	K
夢つくし	ちくごのめくみ444	基肥 40kg	14	14	14	5.6	5.6	5.6
	きばる穂肥エムコート	穂肥 15kg	20	0	16	3.0	0	2.4
元気つくし にこまる 実りつくし	ちくごのめくみ444	基肥 40kg	14	14	14	5.6	5.6	5.6
	きばる穂肥エムコート	穂肥 15~20kg	20	0	16	3.0~4.0	0	2.4~3.2

6.病害虫防除基準

(箱施薬剤を使用することを前提とした構成となっているので、箱施薬剤を使用していない場合は、本田防除の効果が不十分となることある。)

品種	夢つくし・元気つくし			品種	ヒノヒカリ・にこまる・実りつくし			
	粉剤	液剤(展着剤混用)	へり防除		粉剤	液剤(展着剤混用)	へり防除	
箱施薬	防人箱粒剤 50g/箱 (は種時~田植当日) 又は プーンゼクテラ箱粒剤 50g/箱 (は種時~田植当日)			防人箱粒剤 50g/箱 (は種時~田植当日) 又は プーンゼクテラ箱粒剤 50g/箱 (は種時~田植当日)			※散布後は薬剤が土の表面に落ちるようにかん水する	
8月	上旬	いもち病の補正防除.....出穂30日前~5日前にコラトップジャンボPを10~13個/10a散布。			上旬	病害虫の発生にあわせて		
	中旬	病害虫の発生にあわせて ・ダブルカットバリダスタークル粉剤3DL 4kg/10a ・アブロードロムダンモンカットエア(ウンカ・コブメイガ・紋枯病) 750倍 ・ノンプラスバリダフロアブル 1000倍 ・スタークル液剤10(カメムシ・ウンカ) 1000倍 ・アブロードロムダンモンカットエア(ウンカ・コブメイガ・紋枯病) 750倍 ・ノンプラスバリダフロアブル 1000倍 ・スタークル液剤10(カメムシ・ウンカ) 1000倍			中旬	・アブロードロムダンモンカットエア(ウンカ・コブメイガ・紋枯病) 750倍 ・スタークル液剤10(カメムシ・ウンカ) 1000倍 ・アブロードロムダンモンカットエア(ウンカ・コブメイガ・紋枯病) 750倍 ・スタークル液剤10(カメムシ・ウンカ) 1000倍		
9月	上旬	ウンカ・カメムシの補正防除スタークル液剤10 1000倍 スタークル粉剤DL 3kg/10a スタークル豆つぶ 250g/10a			上旬	出穂直前 ・ダブルカットバリダスタークル粉剤3DL 4kg/10a ・ノンプラスバリダフロアブル 1000倍 ・スタークル液剤10(カメムシ・ウンカ) 1000倍 又は キラップフロアブル(カメムシ・ウンカ) 1000倍		
	中旬	ウンカ・カメムシの補正防除スタークル液剤10 1000倍 スタークル粉剤DL 3kg/10a スタークル豆つぶ 250g/10a			中旬	出穂直前 ・ダブルカットバリダスタークル粉剤3DL 4kg/10a ・ノンプラスバリダフロアブル 1000倍 ・スタークル液剤10(カメムシ・ウンカ) 1000倍 又は キラップフロアブル(カメムシ・ウンカ) 1000倍		

※防除をする際は、たん水状態で散布することで効果が安定します。
※粒剤の使用にあたっては営農センター・普及指導センターへお尋ね下さい。(粒剤は早い時期の予防散布用なので注意)

農薬、肥料、資材の注文はJAへ!

「令和3年度版病害虫・雑草防除の手引き」 <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bojonotebiki.html>

注) 農薬は令和3年12月28日現在の登録状況に基づき、記載しています。